

「みやぎDX推進モデル企業創出事業」に係る業務委託企画提案競技に関する質問について（回答）

令和8年4月28日

質問内容	回答
1 「令和7年度みやぎDX推進モデル企業創出事業」の実施内容や成果などが分かる報告書等の資料を提供いただくことは可能でしょうか。	<p>実施報告書については、公表しておりません。 令和7年度の実施内容及び成果の概要は以下のとおりです。</p> <p>○主な実施内容 県内企業を対象とした「DXセミナー（全5回）」の開催、モデル企業選定企業11社に対する個別伴走支援として、「DX認定取得に向けたゼミ（3回）・ワークショップ（3回）」の開催等を実施しました。</p> <p>○成果 伴走支援を行った11社のうち7社が委託期間内に「DX認定」の申請を完了しました。また、DXセミナーには延べ479名（オンライン・現地開催のハイブリッド）が参加しました。</p> <p>なお、宮崎県ホームページの次のURLの記事も参考にしてください。 https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sangyoseisaku/shigoto/chushokigyogyo/20251002114826.html</p>
2 「令和7年度みやぎDX推進モデル企業創出事業」におけるDXの事例集を提供いただくことは可能でしょうか。	<p>DX事例集については、現時点では公表しておりません。 本事業における「攻め」と「守り」のDXの定義は、業務委託仕様書に記載のとおり以下を想定しております。</p> <p>○「攻め」のDX データ活用による新たな付加価値やビジネスモデルを創出し、競争力を強化する。</p> <p>○「守り」のDX 既存業務プロセスの見直し、デジタル技術で効率化・省力化に取り組む。</p> <p>【令和7年度伴走支援企業における取組みの方向性（一例）】</p> <p>○「攻め」のDX AIやデータを活用した新規事業開発・サービス品質向上、3D技術を中心とした事業展開、人流データ等を活用したイベント特化型アプリ構想など。</p> <p>○「守り」のDX ペーパーレス化や現場管理アプリの導入、AIを活用したデザイン・資料作成の自動化や社内ツール内製化による業務効率化、RPAによる自動化など。</p>
3 みやぎDX推進モデル企業創出事業については、過年度を含め3年目または4年目という理解であっていますでしょうか。	<p>「みやぎDX推進モデル企業創出事業」という名称・スキームでの事業は、令和7年度から開始しており、令和8年度で2年目となります。 なお、過去の県の事業として、類似のDX推進支援事業（「みやぎDXさきがけプロジェクト」等）を実施しております。</p>
4 「令和7年度みやぎDX推進モデル企業創出事業」で実施した事業説明会について、実施回数や開催場所、参加事業者数やその業態等についてご教示いただけますでしょうか。	<p>令和7年度は、モデル企業募集のための「事業説明会（1回）」に加え、県内企業等へ向けた啓発等を目的とした「DXセミナー（全5回）」を開催しました。概要は以下のとおりです。</p> <p>【事業説明会（モデル企業募集用）】 実施回数・日時：1回（2025年7月24日開催） 開催方法：オンライン（Zoomウェビナー） 参加申込者数：45名（35団体） 内容：経済産業省担当者によるDX認定の概要説明、DX認定企業2社による体験談の発表、本事業の募集要項説明等を実施しました。</p> <p>【DXセミナー（県内企業向け啓発）】 実施回数：全5回（2025年9月～2026年2月にかけて実施） 開催方法：現地会場とオンライン（Zoomウェビナー）のハイブリッド開催 第1回～第4回会場：ATOMiCa宮崎 第5回会場：わくわくセンター 参加申込者数（延べ人数）：計479名 第1回：75名（現地9名、オンライン66名） 第2回：95名（現地18名、オンライン77名） 第3回：89名（現地14名、オンライン75名） 第4回：104名（現地21名、オンライン83名） 第5回：116名（現地41名、オンライン75名）</p>
5 「令和7年度みやぎDX推進モデル企業創出事業」において伴走支援を行った企業について、現在のDX認定の申請状況をご教示ください。	<p>令和7年度に伴走支援を行った11社のうち、委託期間内に「7社」がDX認定の申請を完了しました。なお、未申請の4社につきましても、社内稟議のスケジュール（理事会の開催時期等）や自社ホームページ改修等の都合による遅延等であり、引き続き、申請に向けた準備を進めております。</p>
6 対象企業にて利用可能な貴県の補助金（もしくはすでに利用している補助金）についてご教示ください。	<p>本県において対象企業が利用可能な補助金として、「産業DX推進事業費補助事業」及び「物価高騰対策DX推進事業費補助金」がございます。</p> <p>①産業DX推進事業費補助事業 DX戦略に基づくデジタル実装等のシステム導入経費をサポートするものであり、補助率は1/2、類型として「導入タイプ（上限250万円）」と「発展タイプ（上限1,000万円）」の2種類が設けられております。</p> <p>②物価高騰対策DX推進事業費補助金 既存業務の効率化・省力化や収益性・生産性の強化を図るシステム導入等にかかる費用を支援するものであり、補助率は1/2、類型として「デジタルツール導入事業（上限200万円）」と「戦略的DX推進事業（上限500万円）」の2種類が設けられております。</p> <p>なお、上記補助金につきましては、申請状況等により、募集期間内であっても早期に締切りとなる可能性がありますので、ご留意ください。</p>
7 令和7年度「みやぎDX推進モデル企業創出事業」において、個別伴走支援に応募した企業数は何社でしょうか。	<p>15社です。</p>
8 令和7年度「みやぎDX推進モデル企業創出事業」において、個別伴走支援に参加された11社のうち、個別伴走支援期間中においてDX認定の申請が完了した企業は何社でしょうか。	<p>委託期間内に「7社」がDX認定の申請を完了しました。なお、未申請の4社につきましても、社内稟議のスケジュール（理事会の開催時期等）や自社ホームページ改修等の都合による遅延等であり、引き続き、申請に向けた準備を進めております。</p>
9 上記のうち、実際にDX認定を取得した企業は何社でしょうか。	<p>認定機関の審査に時間を要するため、委託期間内に認定を受けた企業はありませんが、令和8年4月1日付けで、4社が認定を受けております。</p>
10 令和7年度支援企業に対する継続支援について、対象企業数及び各企業の現在の進捗状況（DX認定申請の有無、DX戦略策定状況等）があれば御教示ください。あわせて、提案見積りの前提となる想定支援内容及び支援回数の方があれば御教示ください。	<p>令和7年度に伴走支援を行った企業は「11社」です。各企業の進捗状況は、11社すべてにおいてDXビジョンやDX戦略の策定、推進体制の整理等が完了しており、うち「7社」がDX認定の申請を完了しております。未申請の4社につきましても、社内稟議のスケジュールや自社ホームページ改修等の都合による遅延等であり、引き続き申請に向けた準備を進めている状況です。</p> <p>また、提案見積りの前提となる想定支援内容及び支援回数につきましては、一律の規定は設けておりませんが、提案見積りにあたっては、効果的な支援内容や回数を提案者の知見に基づき想定し、ご提案ください。</p> <p>なお、令和8年度の新規選定企業に対する伴走支援につきましては、業務委託仕様書に記載のとおり、月1回以上の頻度で実施することを前提としてご提案ください。</p>
11 支援対象事業者の募集・選定について、応募受付、応募内容の整理、審査、最終決定における県と受託者の役割分担を御教示ください。	<p>支援対象事業者の募集・選定における県と受託者の基本的な役割分担については、実務的な募集活動から受付・審査プロセスについては受託者に主導していただき、最終的な決定にあたっては県と協議の上で行うこととなります。具体的には、以下のとおり想定しております。</p> <p>○受託者 募集に向けた広報・県内事業者の掘り起こし、応募受付、応募内容の整理、選定基準（採点表等）に基づく一次的な審査・評価等の実施。 ※選定基準（具体的な審査項目や採点表等）は、県と協議の上で受託者が作成します。</p> <p>○県 受託者が整理・評価した内容を確認し、受託者と協議を行った上で、最終的な支援対象企業の決定（承認）。</p>